

京都大学における 研究力強化のハブ組織を目指す KURAの取り組み

伊藤 健雄

京都大学学術研究展開センター 副センター長
シニアURA

2023年 2月27日 東京大学URAネットワークシンポジウム

京
都
大
学



自己紹介

伊藤 健雄（いとう たけお）

学術研究展開センター（Kyoto University Research Administration Center, KURA）

副センター長・シニアURA

略歴

京都大学 大学院工学研究科 助教

京都大学 学術研究支援室 URA

経済産業省 産業技術環境局大学連携推進室 室長補佐

京都大学 学術研究支援室 シニアURA

2022年4月より現職

本日の内容

- 京都大学におけるURAの整備と組織体制
- URAの業務
- 課題と将来展望

本日の内容

- 京都大学におけるURAの整備と組織体制
- URAの業務
- 課題と将来展望

京都大学におけるURAのミッション

京都大学 中期目標・中期計画

諸外国の有力大学に比べて弱い研究者支援体制を充実させるため、URAの全学的な雇用体制を整備し、研究者がより研究に専念できる研究環境改善を図る。

大学の改革と将来構想の実現（研究力強化）

URA
配置

大学経営への
コミット

URA 活動基盤

- ⑧ URAシステムの
定着化、普及

研究者支援

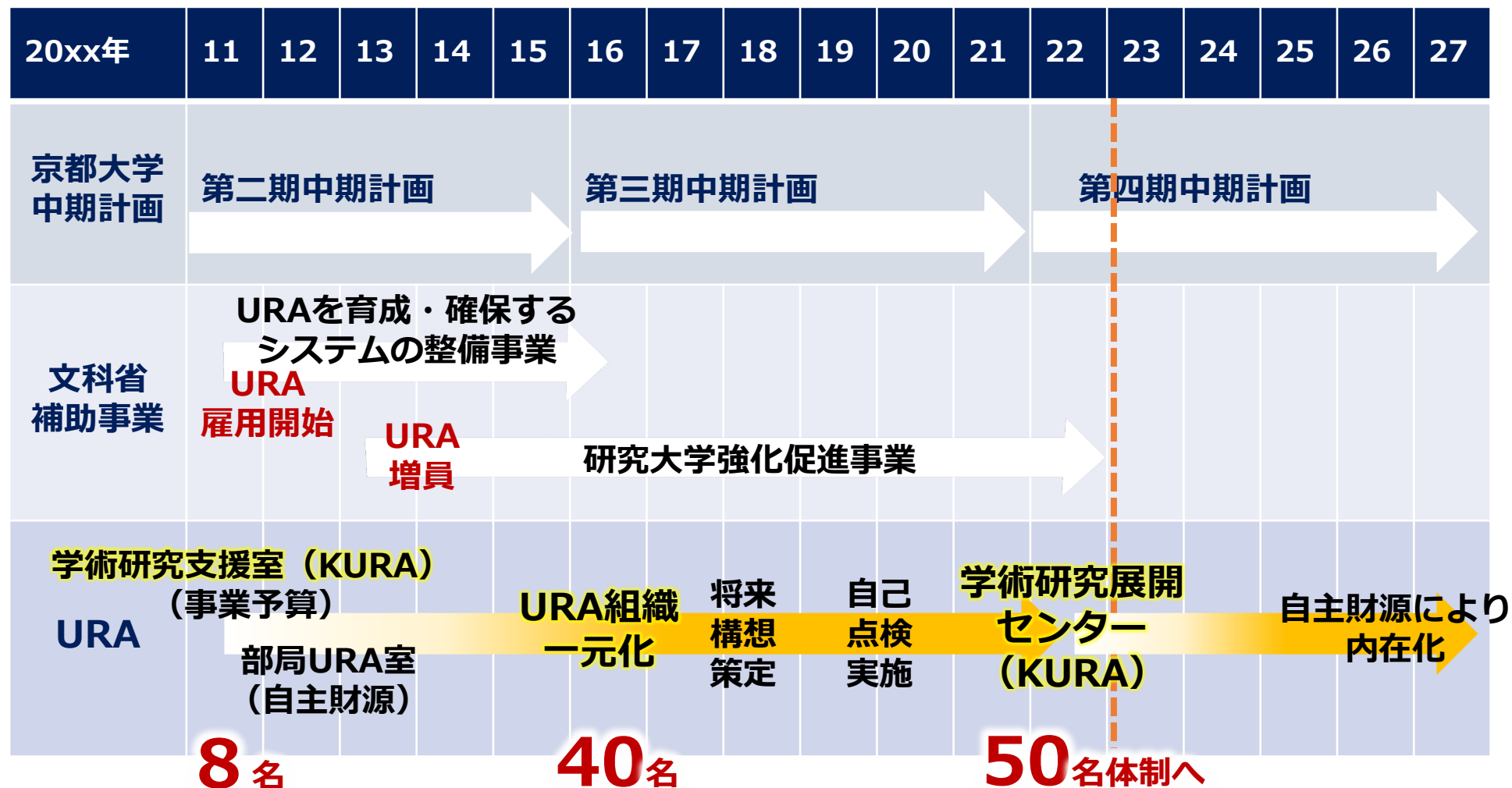
- ③ プレアワードに係る研究推進支援
- ④ ポストアワードに係る研究支援
- ⑥ 産官学連携の推進支援
- ⑦ 研究広報及びオープンサイエンス
の推進支援

大学運営支援

- ① 大学経営戦略の企画・立案の
支援
- ② 全学的な研究力強化施策の推進
- ⑤ 研究の国際化推進支援

URA活動

京都大学におけるURA整備のあゆみ



学内URA組織の一元化（サテライト化）

平成25年度に国内の大学で初めて**部局URAを設置**（40名規模のURA体制）

本部URA（学術研究支援室）と部局URAは、異なるガバナンス・別々のオフィス

見直し

- 固定された要員（URA）配置により、増大する多様な支援ニーズへの対応が困難
- 一体的なURAの育成機会の提供困難
- URA間の情報共有、効率的な連携の必要性

再構築

平成28年度に本部URAと各地区（部局）URAによる**全学一元化体制**を導入



- ① 本部URA（学術研究支援室）と部局URAの**ガバナンスを一体化**
→ **部局URAの機能は地区URAとして残す**
- ② 京都大学URA全員が活動できる新オフィスを自主財源で設置
→ 遠隔にある一部の部局URAのオフィスは、**サテライト**として残す
- ③ **多様なスキル・知識・経験**を有するURAを戦略的に公募採用

全学支援組織のハブ機能を担うKURAの構築

KURA内に学内の各組織の窓口となるURAを配置



本部執行部、学内各部局の教員組織、その他全ての研究者と事務組織を繋ぐハブ機能を担う

本日の内容

- 京都大学におけるURAの整備と組織体制
- URAの業務
- 課題と将来展望

学術研究展開センターの活動概要

研究推進・発展に資する活動

【研究者支援】

③ 競争的外部資金獲得支援（プレアワード業務）

- 国の学術政策・予算動向の調査・分析
- 公募情報収集・配信
- 申請書作成支援（海外ファンドを含む）

③ 研究企画支援（プレアワード業務）

- 部局横断・異分野融合型研究、国際共同研究等の立上げ支援（チーム形成支援等）
- 機関申請型大型事業の企画支援

④ 研究プロジェクトマネジメント

（ポストアワード業務）

- 機関申請型大型事業等獲得後のプロジェクト立上げ及び運営支援
- 学内ファンド獲得後の伴走支援

⑥ 産官学連携推進支援（関連専門業務：産学連携支援）

- 産連型公募事業の獲得及び運営支援
- 研究シーズの発掘と産連組織への橋渡し

⑦ 研究広報及びオープンサイエンスの推進

（関連専門業務：研究広報関連、発信力強化）

- 国民との科学・技術対話の推進（アカデミックデイ）
- 人社系研究の成果発信支援（海外出版支援等）

（URAスキル標準の分類）

連動

研究戦略立案・推進や大学運営に資する活動

【大学運営支援】

① 研究力強化戦略の企画・立案支援

（研究戦略推進支援業務）

- 戦略調整会議における検討課題への対応
- 研究IRに基づく研究力強化施策立案支援
- 国際的な学術研究・政策動向等の調査・分析
- 大学運営資金獲得支援
- 部局運営支援（研究力分析、概算要求申請支援等）

② 全学的な研究力強化施策の推進

（研究戦略推進支援業務）

- 本学が強みとする先端研究領域の支援
- 学内ファンド企画・運営・最適化
- 若手研究者・海外出身研究者支援
- 設備・機器の共用促進支援

⑤ 研究の国際化推進（関連専門業務：国際連携支援）

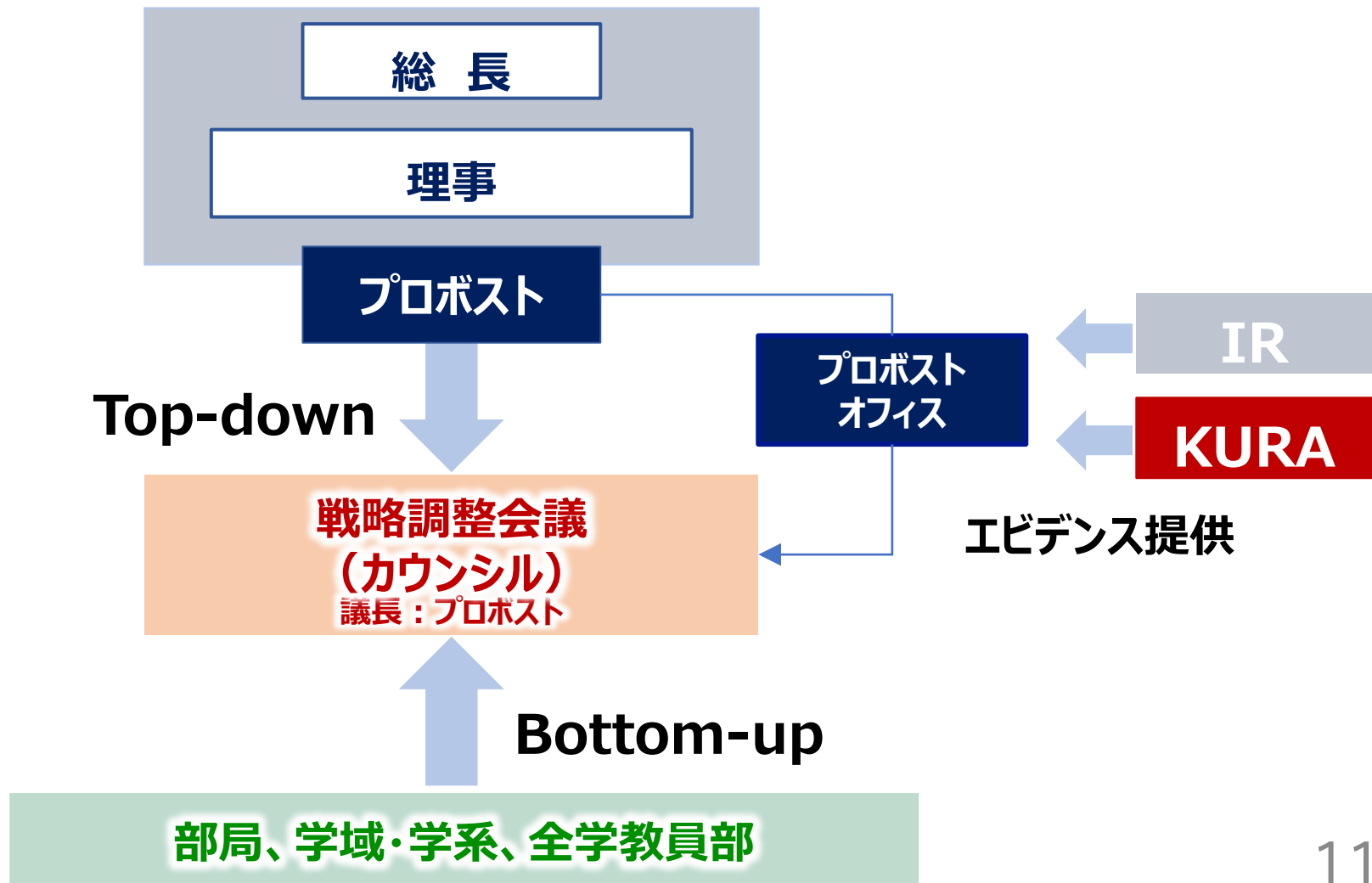
- 海外拠点やオンサイトラボ等を活用した国際共同研究推進
- 全学的な国際研究交流プログラムや戦略的パートナーシッププログラムの企画・運営

⑧ URAシステムの定着化・普及

- URA活動の認知度向上に向けた取組み
- URA研修・教育プログラムの実施と充実
- 国内外の大学・研究機関及び学内支援組織とのネットワーク強化

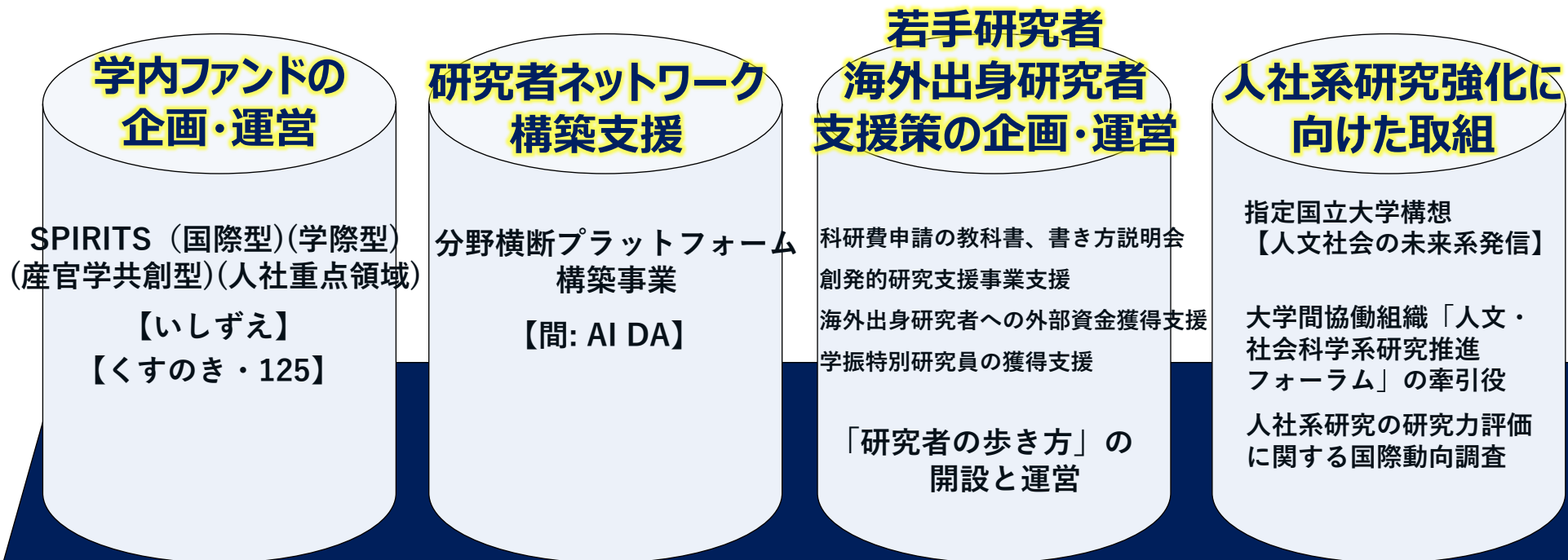
大学経営戦略の企画・立案の支援：プロボストオフィス業務

プロボストオフィス兼務のURAが戦略調整会議（カウンスル）に参加し、検討課題に関する調査分析・企画等を支援。特に、研究IR（Institutional Research）等で貢献



全学的な研究力強化施策の推進

- 若手や海外出身者を含め、分野を問わず、研究力を強化するための支援策を開発・実施
- 学内ファンドや研究環境整備により支援し、活動及び成果を体系化・共有



研究環境の整備：設備共有化に向けた活動支援（中長期的な設備マスタープラン）

KURAによる支援策の体系化・共有

- KURAの活動ノウハウをロジックモデル形式で整理しPDCAを実施。活動及び成果は体系的にウェブサイト・冊子で公開
- 研究者・職員向けのセミナー等の実施により研究支援ノウハウ等を研究者や職員へ伝授

プレアワードに係る研究推進支援

- 政策調査、公募情報の収集、申請書作成や模擬ヒアリング等を実施
- URAのスケールメリットを活かし、**科研費、CREST/さきがけ、AMED事業**ほか、**機関申請大型事業等のプログラムに応じた支援を実施**

「研究費獲得」に向けたの **5つ** のサポート

- ① **外部資金情報の収集・分析・配信・説明会開催**（提供WEBサイト「鎗」）
- ② **大型研究ファンドのチーミングサポート**
- ③ **申請書のブラッシュUP**（科研費の教科書 etc.）
- ④ **ヒアリング審査サポート**（模擬ヒアリング開催・ヒアリング資料作成）
- ⑤ **海外出身研究者にも英語で情報提供・申請サポート**

【支援実績例】

年間支援総数：1,200件以上

機関申請・拠点形成型大型事業

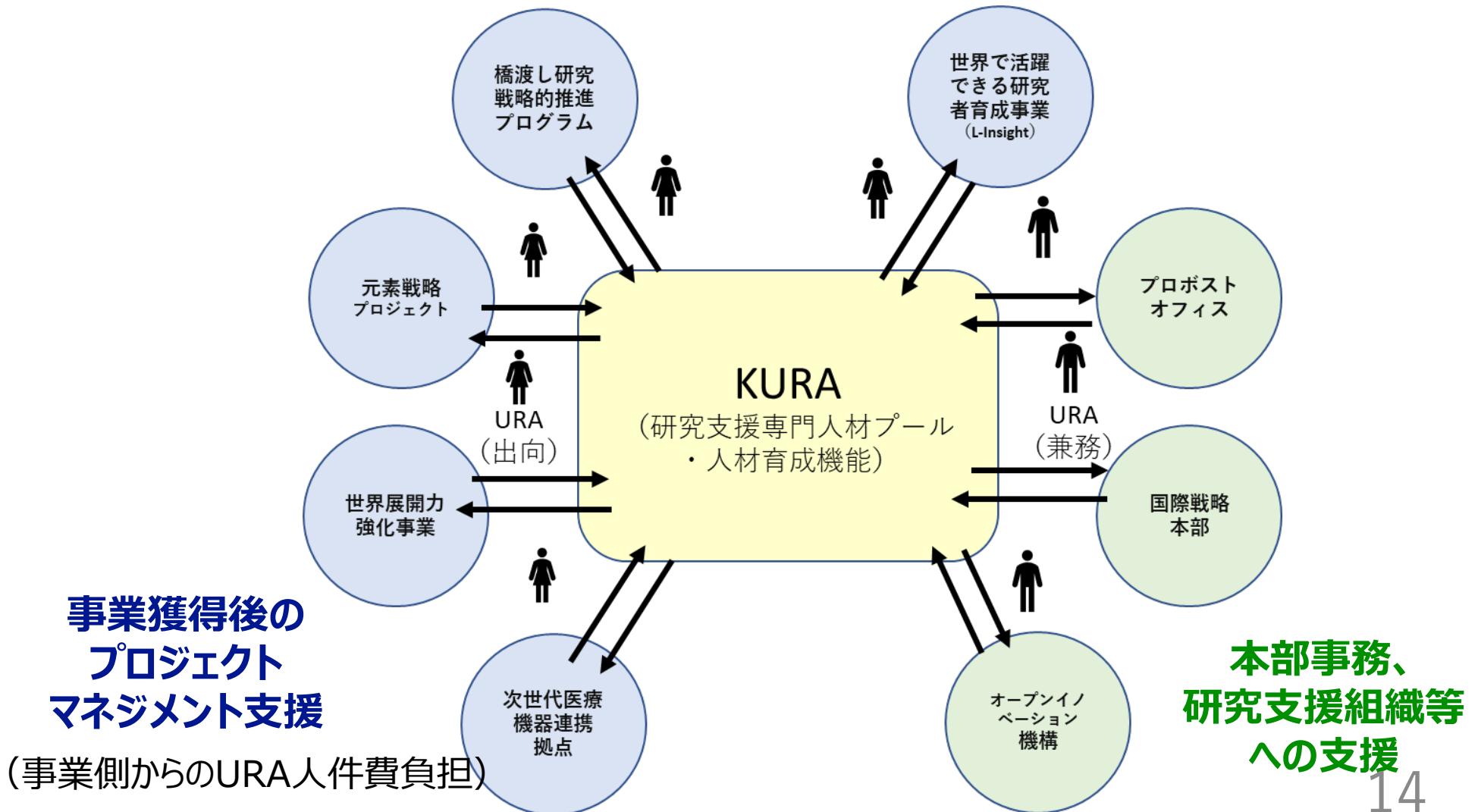
- 例） ●世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI） ●オープンイノベーション（OI）機構
●共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT） ●卓越大学院（医）
●光・量子飛躍フラグシッププログラム（Q-LEAP） ●次世代医療機器開発拠点連携
●革新的医療技術創出拠点プロジェクト（異分野融合型シーズ）等

個々の研究者への支援

例） 科研費：年間支援 **総申請数の約3割をカバー**

ポストアワードに係る研究支援

- 機関申請する大型プロジェクト獲得後の立上げから、マネジメントをプロジェクト主体へ移管するまでのPost-Award の支援を実施



研究の国際化推進支援

- ASEAN拠点、欧州拠点をURAが活用して学内と海外の現場ニーズを把握し、研究者・実務者をつなぐことにより、国際共同研究を拡大・推進
- 国際シンポジウムの企画・運営を通じて京都大学の国際性プレゼンス向上やOn-site Laboratory 設置、機関申請が必要な大型の海外ファンド（NIH, Horizon 2020等）の申請を支援

【京大独自】 海外と学内の両現場をつなぐ高度専門人材（URA）による研究の国際化推進支援システム確立

KURA（研究国際推進グループ URA）

※ 国際戦略本部員を併任

国際シンポジウム・WSを
通じた機会創出



On-site laboratory

全学海外拠点の運営・利活用促進

欧州拠点(ドイツ・ハイデルベルグ)

ASEAN拠点(タイ・バンコク)

- [1] 研究活動支援 [2] 教育活動支援
- [3] 本学教職員・学生の国際化推進
- [4] 広報・社会連携・ネットワーク形成

海外ファンド・国際系ファンド
獲得支援



Harvard Yenching
Visiting Scholars
Programs

民間財団等

優秀な外国人留学生獲得
(大学院生リクルーティング促進)

具体的な成果（例）

【ASEAN】：日ASEAN科学技術共同研究拠点（JASTIP）形成

【欧州】京都大学－DAADマッチングファンドプログラム創設

【アフリカ】：JST-JICA SATREPS等獲得、欧州キャンオン財団-日本アフリカ研究者相互派遣プログラム創設

産官学連携の推進支援

- 産連型競争的資金や国プロの獲得および獲得後の事業の立ち上げを支援
(COI-NEXT、WPI、OPERA、Q-LEAP等)
- 研究情報基盤の整備を行うとともに、学内外の産連支援組織及び自治体等との協力の下、研究者の研究・技術シーズの発掘・発信と産連本部等、連携組織への橋渡しを推進

学内産連支援組織

産官学連携本部

【法務・知財戦略・コンプラ】

京都大学OI機構

【大型共同研究マネジメント・推進】

KUMBL

【医学領域産連支援】

先端医療研究開発機構

【医療開発・臨床研究支援】

TLO京都

【技術移転等】

京大オリジナル

【コンサルティング・研修等】

京都大学
イノベーションキョウト
【Startup支援等】

出資子会社

研究者

産連公募
申請支援

実務協力
研究者マッチング支援

KURA

■産連活動基盤整備

例) データベース、産学連携事例集の構築・作成

■学内の産官学連携支援組織の構築支援

例) オープンイノベーション(OI)機構事業の申請・立上げ支援

■産連型公募事業の申請/事業立ち上げ支援

■産官学マッチング、シーズ導出、共同研究支援

例) 京大オリジナル、産連本部等との連携によるマッチングイベント(インダストリアルデイ)の開催
京都大学ライセンスショーケース@UCSD
(京大発のイノベーションの海外展開の加速化の支援)

■知財等実務・コンサルティング

研究広報及びオープンサイエンスの推進支援

- 専門の知識・スキルを持ったURAが、社会への発信や市民との対話など、**研究広報**や**オープンサイエンス**にまつわる課題・ニーズに対応

研究者/研究プロジェクトの広報

- ノウハウを記した媒体の作成
→ 「プレスリリース虎の巻」
- 研究者へのノウハウのレクチャー
- 研究者からの広報支援依頼への対応
→ 広報活動の計画立案（コンサルティング）
→ 使えるサービス・ツールの紹介、業者及びその発注方法の紹介
→ マスメディア（新聞記者・テレビプロデューサー等への売り込み）



大学の研究広報

- 広報課（国際広報）サポート
- 企画課（WEB戦略）サポート
- 研究紹介冊子の作成 サポート
- 京都大学の研究を発信するWEBサイト構築・運営
→ K.U.Research



人社系研究の成果発信支援

- 人社系研究の海外出版支援
- 人社系書籍のオープンアクセス出版助成
- 新刊情報ポータル運営
- 人社未来形発信ユニットの戦略的広報支援

- 研究データ管理基盤構築支援
→ 葛ユニット参画、JPCOAR参画
→ オープンアクセス化サポート

国民との科学・技術対話の推進

- 内閣府「『国民との科学・技術対話』活動」への対応
→ 研究者の支援ニーズ調査
→ 一度に支援をする企画（京大アカデミックデイ）の企画



オープンサイエンスへの対応

本日の内容

- 京都大学におけるURAの整備と組織体制
- URAの業務
- 課題と将来展望

KURAの業務マネジメントの課題

1. URA業務範囲が多岐にわたるようになり、業務の効率化、エフォート配分の管理、部局等に対する調整が必要
2. 個々のURAの特殊スキル、学術的専門性をみがき、横展開させる組織努力の不足
3. 既存の学問領域を越えた新たな融合研究分野創成への一層の貢献

研究者・部局等の研究動向を把握・分析し、 新たな学問分野の創成に貢献する

- ① **部門長**に研究科長等の経験のある教員を配置し、支援ニーズの把握、部局との業務調整、部局執行部への支援を機動的に展開
- ② **部門間におけるローテーション**をさらに強化し、研究情報の共有による融合研究の創成、個人スキルやキャリア形成強化を図る
- ③ **部門を越えたプロジェクト**の企画・運営（事務組織からも参加）

ご清聴ありがとうございました

—KURA— 